

ニュース

令和7年度夏出発 第21期候補生対象

「保護者同伴留学説明会」が開催されました!!

5月25日(土)13時より、本校L.L.教室にて令和7年度夏出発 第21期候補生対象の「保護者同伴留学説明会」が行われました。旭陵留学担当よりご挨拶と旭陵留学生プログラムについてお話させていただいた後、株式会社ISAの黒沢様より交換留学全般に関する説明をしていただきました。参加者全員説明に熱心に耳を傾ける様子が右の写真からも伺うことができます。本説明会の参加者は6月14日(金)までに担当者に出願の意向を報告し、7月から選考試験に向けた取り組みをスタートさせます。



交換留学の歴史について

高校生の交換留学制度は第二次世界大戦後、二度と世界に悲惨な戦争が起こらないように、また未来を担う若者に国と国の架け橋になってもらうことを願って、アメリカで始まりました。当初はアメリカ中心の制度でしたが、その後多くの国々で交換留学が実施されるようになり、日本の高校生にも交換留学がより身近なものとなりました。



人生の武者修行としての留学

留学で得られるものの代表としては語学(英語)の習得が考えられます。しかし、高校留学は単なる「語学」の習得が目的ではありません。



何事にも挑戦する
チャレンジ精神



対人コミュニケーション能力



広い視野で物事を捉えることのできる能力

現在の日本国内の高校生の総数は約291万人、その内3か月以上の留学をした人は約1900人で全体の0.07%程とても少ないことがわかります。多くの大学が総合型・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)を採用し、求める生徒像として、高い環境適応力やコミュニケーション能力を持ち、学習意欲があり、主体的に考え、行動することのできる人間性を挙げています。留学は大学や企業が求める人材に必要な資質を養うための絶好の機会といえることができます。



親子同伴留学説明会参加者の感想



とても参考になりました。同窓会からの支援金ももう少し増えるとありがたいです。子供にはぜひ挑戦してほしいです。

(1年生 保護者さま)

今年こそは合格できるよう、英語の勉強を頑張ろうと改めて決意しました。(2年生 参加者)



留学について詳しく知れたし、自分がどうして留学したいのが改めて考える機会になった。(1年生 参加者)